



今月の教育目標 楽しい食事を しましよう

きゅうしょくだより

令和3年12月1日 光明第一保育園



乳幼児期の「食べること」は、栄養の観点はもちろんですが、生涯の生活と健康に関わる「食」のスタート地点という意味で大切です。食は、生涯にわたる命の源。だからこそ、その出会いの時期である乳幼児期には「食べることは楽しい」という気持ちを育てることが大切です。食べることが楽しくなるように、楽しい食事の雰囲気を作りましょう。

「楽しく食べる子供」に成長するための5つの目標



今年も残すところ1ヶ月となり、朝晩の寒さも厳しくなってきました。12月の教育目標は「楽しい食事をしましょう」です。楽しく食事をするためには、家族や友達と同じもの食べ一緒に味わう「コミュニケーション」が大切です。食事中はテレビを消して、今日の出来事などお子さまの話に耳を傾け、料理を味わって食事をとるように心掛けましょう。



精進料理の取り組み

食事をいただく時の心構えが有ります。此を五觀の偈（ごかんのげ）と言います。一番目に、1つには功の多少を計（はか）り彼（か）の来処（らいしょ）を量（はか）る。

この食事が出来るまでに携わった多くの方々の苦労や食材の尊さに感謝していただきましょう。

食事の前に合掌して、「いただきまーす」と声を出してから食べましょう。



坪川老師



『11月精進料理』

- ・ごま塩ごはん
- ・味噌汁（なめこ・油揚げ・三つ葉）
- ・お麸じやが
- ・白和え
- ・柿



冬至



12月22日は二十四節気の一つ「冬至」。冬至は一年で昼が最も短い日です。冬至にはゆず湯に入り、南瓜を食べる風習があります。

ゆず湯は血行が良くなり身体が温まるため、風邪を防ぐ皮膚を強くする効果があります。

南瓜はビタミンEやβカロテンが豊富で、肌や粘膜を丈夫にし、感染症などに対する抵抗力をつけることができ、冬至に南瓜を食べると風邪をひかないと言われています。また美肌効果の高い食材です。

給食室より

4歳児が豆腐作りを体験しました。「豆腐は何からできている？」の質問に、「豆乳！」「大豆！」と答える子ども達。その後、豆腐が出来るまでの話をし、子ども達の前で豆乳を煮ました。豆乳から豆腐に代わっていく様子をみんなで数を数えて観察。みんなで出来立ての豆腐を食べました。

